

ワイド 鳥取

情報はこちらへ

本 社
☎0857(21)2880
中部本社
☎0858(26)8311
東伯支局
☎0858(53)0671
但馬支社
☎0796(82)4541
E-メールアドレス
houdou@nnn.co.jp

赤ちゃんと仲良し

岩美西小でふれあい体験

2007.7.3

岩美町大谷の岩美西小学校(山本正人校長)で六月二十六日、五年生を対象にした「赤ちゃんとふれあい体験」が開かれ、児童三十四人が町内や鳥取市内の四歳までの赤ちゃんと三十六人と交流した。

同町で活動している団体ぶろじえくとえん(西浦公子代表)が企画。児童たちは命の大切さ、コミュニケーションの取り

方や抱き方などを学んだ

後、ペアになった赤ちゃんと抱っこしたり、おもちゃで遊んだりと二対一で楽しい時を過ごした。

担任の浜田恒治教諭は「赤ちゃんが相手だけに、自分が何ともしなくては仲良くなれない。誰かを喜ばせることによって自分もうれしい気持ちになるということに気づいたのではないでしょう」と、今回の体験学習

を振り返った。

同校では十一月、成長した赤ちゃんとのおふれあいを計画している。



赤ちゃんと触れ合う中学生

すっかり。パパ、ママ気分

倉吉・東中でも交流楽しむ

2007.7.3

倉吉市宮川町二丁目の市立東中学校で六月二十九日、赤ちゃんと中学生が触れ合う会があった。三年生二十九人と、赤ちゃんとお母さんのペア十九組が、それぞれに交流を楽しんだ。

取り組みはクラスごとに体験しており、今回が四クラス目になる。アドバイザーに鳥取大学医学部の高塚人志准教授を迎えて、赤ちゃんとお母さんを迎える準備を整えてから対面した。

生らの研修も兼ねており、来校した三朝中の家庭科講師、松原千絵さん(三巴)は「みんなで作ることで意味がある。中学校が乳児と触れ合う機会がもっと作れたらいい」と感想を話していた。

赤ちゃんを抱いた長池圭貴さん(三巴)は「かわい。結構重たい。おむつ交換もして、お母さんの気持ちに分かった」と話していた。八カ月になる長女の蒼ちゃんと一緒に訪れた、同市上神の中村智恵さん(三巴)は「積極的にかかわってくれてうれしい。中学生とかかわる機会はめったにないので楽しいです」と目を細めていた。

この日は、一般や保護者、中学校の家庭科の先



赤ちゃんと触れ合う児童たち